

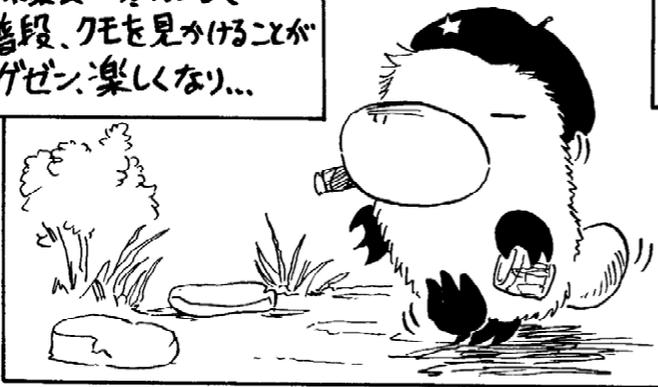
採集観察会 入門!!

その3: 初心者の落とし穴

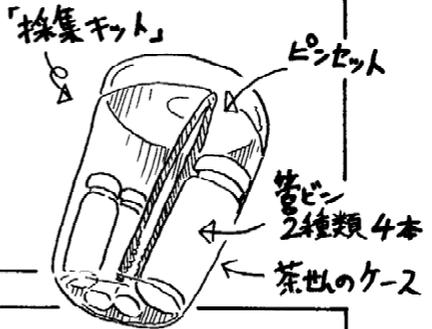
まじ中の初心者

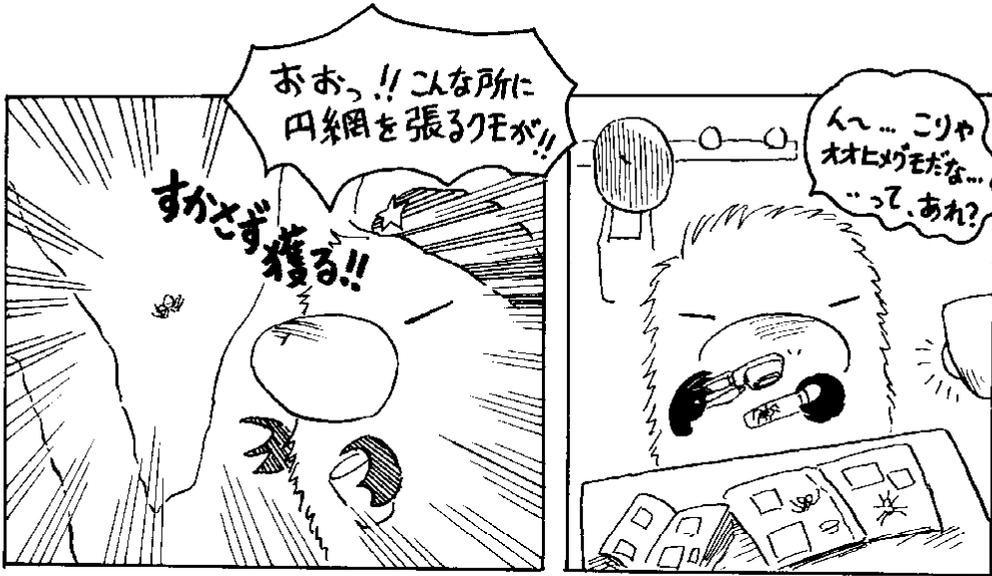


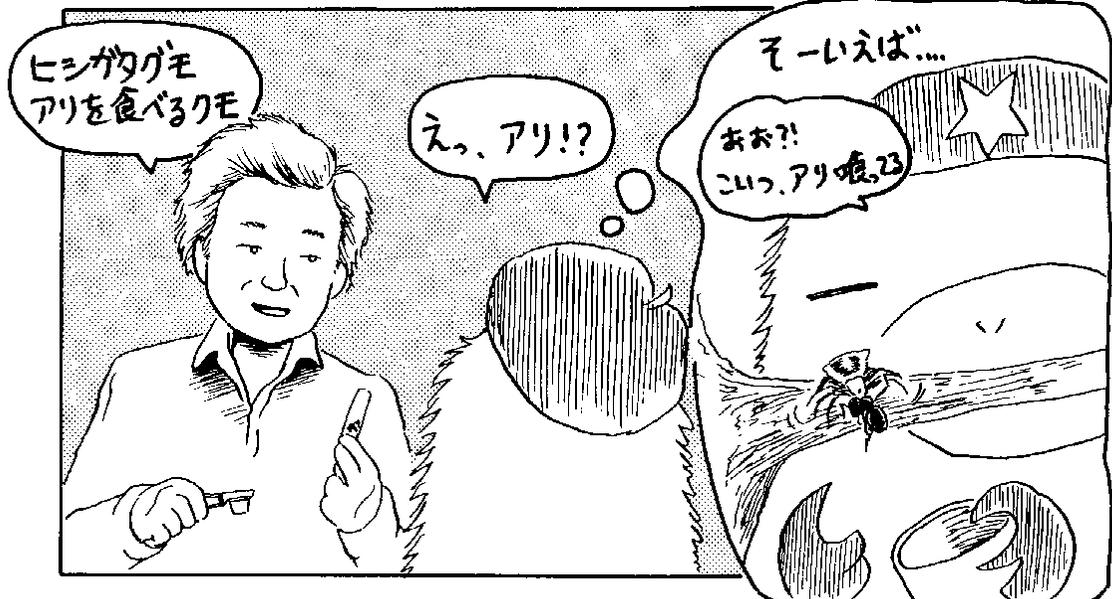
採集会に参加して
普段、クモを見かけることが
ぜんぜん楽しくなり...



近所に買い物が出て
採集キットを持って出か
けたりするようになった



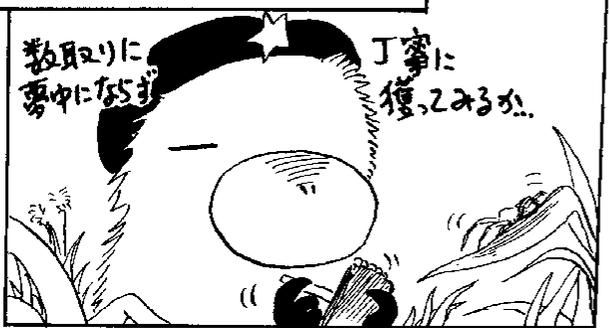




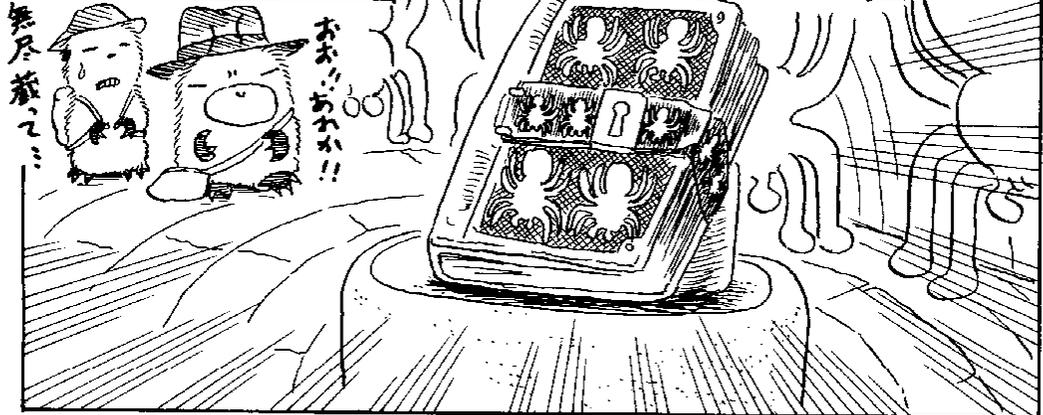
採集会では 貞元さんや谷川さん、新海さんなどに
 手渡すと、ほとんど種類が分かってしまうので、
 採集時の状況をすとはす習慣がついてしまった。



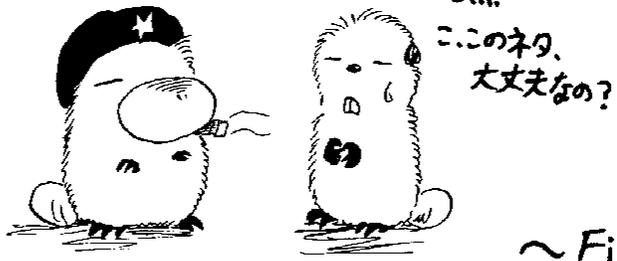
自分である程度同定できるように
なるためにモ、周囲の観察と、
フィールドノートによる記録が大切
だなあと実感した。



そこには未発表のデータが
無尽蔵に記録されているという...



しかも、誰もそれを
見たことが無いらしい... 然る方、え...



~ Fin ~

フメ談話
会員の誘いの勧め?

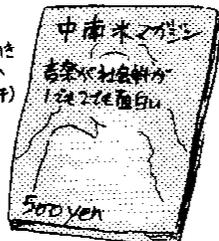
私が談話会に入会
することになったのは...



「中南米マガジン」というミニコミ誌に
タランカウを扱ったコミックを描いたところ...

漫画の
内容が全年齢向
けではないので、ど
か探さないで下さ
い(大泣)

決し教材などに
使用しないで下さ
い(大泣)



小峰光弘さんの目にとり、
誘われ初茨さんへメール
を送ったからですが...

今、振り返ると...

採集!!

ちかほん

つな気がする

イメージが
古過ぎるよ...

若い子が
ついてこ
ないよ。
三面怪獣
なれ。



だからこの際、談話会では
「勧誘」とは言わず、ずばり会員を
「採集する」と!!

え~



みなで周囲のクモ好きを
採集して談話会のコレクション
に加えよう!!

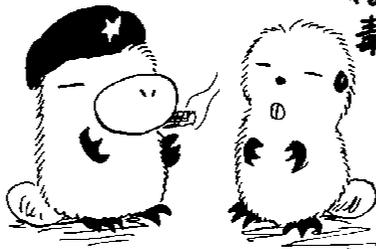
またあ
迷惑な
ノリに

採集!!

うお!!



会員の分類は
谷川さんにお任せして...



「ああ君は
毒虫に分類されるわ...

~Fin~

2008 年度 東京蜘蛛談話会例会総会
2008 年 4 月 20 日(日)東京環境工科専門学校にて



参加者一同

プログラム

1. 開式
2. 自己紹介（近況）とクモについて疑問など四方山話
3. 講演
（1）南西諸島のクモ類（谷川明男）

昼食

総会

休憩

- （2）ワスレナグモの生態 - 入り口で起こる出来事 - （桑田隆生・境武志）
- （3）伊豆諸島 利島旅行記（中西亜耶）
- （4）伊豆諸島のクモ：東京～大島～神津島航路（仲條竜太）

休憩

- （5）イソコモリグモと『絶滅危惧環境』としての自然砂浜（八幡明彦）
- （6）続日本産キムラグモ類の系統解析（谷川明男）
- （7）宝島日記（谷川明男）

4. 閉式（写真撮影）
5. 懇親会

2008 年度東京蜘蛛談話会例会総会での講演会など

初 芝 伸 吾

2008 年 4 月 20 日に東京環境工科専門学校にて、例会総会を行いました。例年通り、自己紹介（近況）とクモについての四方山話を皆さんからお聞きしました。

今回は講演数が 7 題で総会もあったため、講演によって講演時間を多少変えさせて頂きました。通常は講演時間は 20 分、質疑応答は 10 分です。

以下の皆様が総会や総会後の懇親会に参加されました。

加藤輝代子, 初芝伸吾, 土屋昌利, 谷川明男, 中島晴子, 真山春菜, 仲條竜太, 本多佳子, 浅間 茂, 小澤実樹, 張替智行, 笠原康郎, 小峰光弘, 萩野康則, 八幡明彦, 深澤 悟, 中西亜耶, 田中耕太郎, 松尾真人, 深谷拓実, 笠原喜久雄, 笠原康郎, 貞元己良, 安田明雄, 加藤むつみ, 甲野 涼, 初芝琢磨, 初芝秋沙, 萩本房枝, 高津素夢, 桑田隆生, 平松毅久, 新海 明 以上 33 名（名簿記述順, 敬称略）

また、会に参加できず、事務局にハガキを送って頂いた方は梅林 力さんでした。

初芝所感

今回の総会は、昨年の例会（38 名の参加）に続き非常に盛況でした。昨年の例会の講演数は 11！と最多でしたが、今回は 7 講演と通常でした。今回の参加者数もかなり多く、いつも使わせて頂いている東京環境工科専門学校の教室では席数が足りなくなる可能性も出てきました。もしかして、クモ好きが増加しているのか！と思ったりもしましたが、たぶん、会員の皆さんが多くの方々にクモの魅力を広めている結果なのだと思います。

私にとって今回の講演で印象的だったのは、桑田さんの講演でのワスレナグモが巣穴を掘っている姿（逆立ちしてジタバタしながら必死な姿）でした。正に萌えでしたが、あんな状態で巣穴から出てきたら、アツと言う間に天敵などにやられてしまうのでは、と心配になりました。

また、演者の皆様ありがとうございました。演者や参加された皆さんのご協力によってほぼ時刻通り終了し懇親会に入ることができました。

最後に、会場を快く提供して下さる東京環境工科専門学校と、会場の設定や雑務までして頂いている加藤輝代子さんに感謝しております。図々しいのですが、これからもよろしく願います。

東京蜘蛛談話会の会費は、一般 3800 円、学生 2000 円です。

郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

会費のことは：会計担当 安田明雄 〒231-0861 横浜市中区元町 5-219

TEL : 045-641-0763 E-mail : kobato@gol.com

2007 年度決算

2008 年 4 月 20 日
東京蜘蛛談話会

収入の部

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会費	696,200	
内訳 (1)郵便振替	665,800	欄外 1
(2)直接受取	30,400	
2.寄付等	1,600	欄外 2
3.雑収入	0	
4.別刷り代	196,164	
5.利息	1,375	
収入合計	895,339	
6.繰越金		
(1)07 年度以降前納会費	464,800	
内訳 a.07 年度分	411,000	
b.08 年度分	46,200	
c.09 年度分	7,600	
(2)特別会計(プール金)	911,858	
繰越金合計	1,376,658	
合計	2,271,997	

支出の部

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会誌作成	337,125	92,93 号
2.会誌発送	33,060	
3.別刷り作成・発送	209,558	
4.談話会通信	134,613	120,121,122 号
5.事務局等通信費	33,175	
6.事務用品等	7,922	
7.予備費	0	
支出合計	755,453	
8.繰越金		
(1)08 年度以降の前納会費	439,800	
内訳 a.08 年度分	350,400	
b.09 年度分	70,400	
c.10 年度分	11,400	
c.11 年度分	7,600	
(2)特別会計(プール金)	1,076,744	
繰越金合計	1,516,544	
合計	2,271,997	
繰越金の預け先:郵便貯金(普通)	¥894,099	
振替口座	¥497,784	
現金	¥124,661	
合計	¥1,516,544	

欄外 1 : 07 年度会費は、前納分とあわせて 721,200 円受領

欄外 2 : 今年度、新村誠さんから寄付をいただきました。

以上相違ありません。2008 年 4 月 20 日 会計 安田明雄 会計監査 笠原喜久雄

2008 年度予算

2008 年 4 月 20 日

東京蜘蛛談話会

収入の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 08 年度会費	749,800	3,800 円*191 人+2,000 円*12 人
内訳 a.08 年度会費前納分	350,400	
b.08 年度納入予定分	399,400	欄外 1
2. 寄付	0	
3. 雑収入	0	
4. 別刷り代	200,000	
5. 利息	1,000	
収入合計	950,800	
6. 繰越金		
(1)09 年度以降の前納会費	89,400	
内訳 a.09 年度分	70,400	
b.10 年度分	11,400	
c.11 年度分	7,600	
(2)特別会計(プール金)	1,076,744	
繰越金合計	1,166,144	
合計	2,116,944	

支出の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 会誌作成	350,000	175,000 円 × 2 回 (94,95 号)
2. 会誌発送	35,000	
3. 別刷り作成・発送	200,000	
4. 談話会通信	150,000	50,000 円 × 3 回 (123,124,125 号)
5. 事務費・通信費	40,000	欄外 2
6. 事務用品等	10,000	
7. 予備費	10,000	
支出合計	795,000	
8. 繰越金		
(1)09 年度以降の前納会費	89,400	
内訳 a.09 年度分	70,400	
b.10 年度分	11,400	
c.11 年度分	7,600	
(2)特別会計(プール金)	1,232,544	
繰越金合計	1,321,944	
合計	2,116,944	
欄外 1 : 3,800 円 × 191 人 + 2,000 円 × 12 人 - 350,400 円 (前納) = 399,400 円		
欄外 2 : 事務局 5,000 円, 編集 5,000 円 × 3 人, 通信 6,500 円, 会計 5,000 円 通信費, 振込手数料等 8,500 円		

2007 年度会員動向

2007 年 4 月 1 日時点の会員数 201 名 入会 11 名, 退会 9 名 (希望 8 名, 逝去 1 名)

2008 年 4 月 1 日現在の会員数 203 名 (一般 191 名, 学生 12 名)

にせぐもキーホルダーにご用心！

萩野 康 則

東南アジアに採集旅行に行った同僚から土産をもらった。樹脂封入した美麗甲虫のキーホルダーは良く見かけるが、そのクモ版である。

真っ黒な体のヒメグモで腹部背面に赤い斑紋があり、一目でゴケグモ類と分かるクモである。樹脂によるレンズ効果のため、正確な計測はできないが、体長 1.2cm 程度、レッグスパン 3.5cm 程度と、なかなか立派なものである。いずれ例会が採集観察会に持参して、しかるべき方に同定して頂こうと思い、職場の事務机の前に、一緒にもらったサソリのキーホルダーと一緒にぶら下げておいた。いつも見ているわけではないが、ときおり視線が行くような場所である。

ある日のこと、そのゴケグモに目がいった。外雌器はどうなっているのだろうと、今まで考えもしなかったことを思いついた。そこで実体顕微鏡のステージに載せて観察を始めた。

ところが外雌器があるべきところを探しても、それらしきものは見当たらない。こんなに大きいのに幼若個体なのか、といぶかしく思いなおも観察を続けた。まず頭胸部にも腹部にも脚にも、毛らしい毛が全く無いことに気付いた。樹脂に封入する前処理として、何か強力な酸かアルカリで処理をして、毛が抜けてしまったのだろうか。次に腹部の赤色斑紋が背面・腹面ともにやけに盛り上がっていることに気付く。まるでペイントを塗ったようだ。ここにいたって「作りもの？」という考えが浮かんだが、それを打ち消したくてさらに観察を続けた。

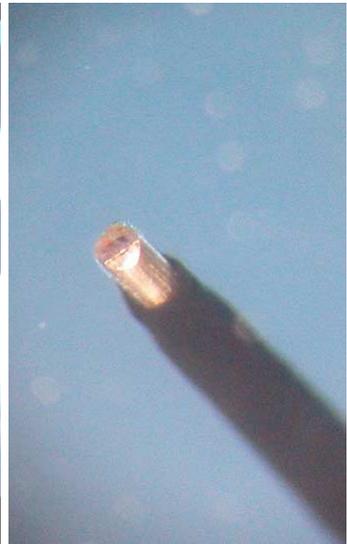
脚の先端を見ると末端毛束があった。「良かった、作りものではなかった」と安心した



にせぐも全形



腹面



歩脚先端

のも束の間、「ん？ ヒメグモは3爪類だから末端毛束は無いはず」と気付き再度検鏡したところ、それは針金だった。そう、針金を芯にして作られた脚なのである。作りものなら毛が全く無いのも合点がいく。斑紋がいびつで盛り上がっているのも当然である。塗っているのだから。

それにしてもなかなか良くできている。触肢までちゃんとつけてあるのだ。また、体色が真っ黒なクモを選んだ、というのもみそであろう。眼をつけていないことが分かりづらから。

このにせグモキーホルダー、2006年1月ごろ、インドネシア・バリ島で、10,000ルピア程度（邦貨換算 120円程度）で購入したものだそうである。この同僚は2007/08年の年末年始にも同じ場所に行ったのだが、同じキーホルダーがまだまだたくさん売られていたとのことである。とんでもクモグッズとしてはなかなか面白いが、クモ屋がお土産にニセグモを渡すと信用に関わる。この方面にお出掛けの際は、ぜひ注意されたい。また、この地域産に限らず、クモの樹脂封入の小物をお持ちの方は、詳しく観察すると思わぬ「発見」があるかもしれない。ちなみに、貞元己良さんから頂戴したアメリカ土産のトゲグモ類のペンダント、これは本物のクモであった（貞元さん、有り難うございました）。

クモの形をした菓子の紹介

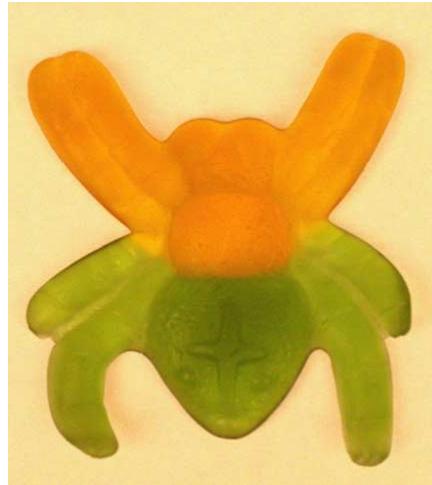
萩野康則

子どもが町内会の行事でもらってきた菓子の中に、クモの形をしたものがありましたので、紹介します。その名も「スパイダーグミ」です。販売元は今や駄菓子の代名詞的存在の「うまい棒」を販売している株式会社やおきんです。販売価格は1個20円ということです。パッケージは13×8cmの透明ポリ袋で、ウインクしながら"Delicious!"とささやいているクモが、網の上ののっています。また、パッケージ上下にはそれぞれ3頭ずつのクモのシルエットが印刷されています。パッケージをあけると、安っぽい香料の匂いが鼻をくすぐります。そしてクモの形をしたグミが登場。ご丁寧にプラスチックのトレーののっています。頭胸部と第1,2脚が黄色、腹部と第3,4脚が淡緑色の美しいクモです。体長5.5cm、レグスパン9cmと堂々たるものです。腹部背面には十字型の模様と1対の斑紋があります。眼、触肢、外雌器、糸疣、爪は確認できませんでした。肝腎の味ですが、驚いたことに黄色い部分はスパイシーな柑橘系で、淡緑色の部分は青リンゴのような味と、色で味を変えてあります。凝っています。決して不味くはありません。食感はかなり堅めです。

ところでこの商品、昨年12月11日には販売元のウェブサイトのカタログののっている、ブックマークしておいたのですが、今日（2008年1月24日）訪ねようとしたらページが無くなっていました。そこで本社に電話で問い合わせたところ、もう扱っていないとの回答でした。残念です。原産国が今問題になっている中国なので、販売をうち切った



いかにも駄菓子らしい包装



これが本体

のでしょうか。その辺の事情も知りたかったのですが、電話対応の女性があまりにも無愛想だったので、細かなことは聞きませんでした。販売中止になってからそれほど経っていないので、回収されていなければまだ市場に出回っているかもしれません。興味のある方は、探してみてください。

「クモの網 What a wonderful web!」巡回企画展と展示図録の紹介

萩野康則

衛生陶器やタイルで有名な INAX は、生活文化の多様性と素晴らしさを広く社会に（そして社内にも）伝えるために、展示事業や出版活動を積極的に行っている。展示事業の一つである「建築とデザインとその周辺をめぐる巡回企画展」は 1981 年に開始され、毎年 4 本の展示を企画し、東京、名古屋、大阪の 3 つの INAX ギャラリーで巡回展示している。また、開催に併せて図録「INAX BOOKLET」も発行し、展示内容を記録・保存している。見学した人は展示の印象をとどめることができるし、見られなかった人も展示を追体験できる。

INAX の展示であれば、やきものやタイルを扱ったもの一辺倒と思いきや、「生きものとデザイン」という視点から、生物系の展示も行われている。これまでに、動物が造る巣に焦点をあてた「生きものたちも建築家-巣のデザイン-」（1993 年）や、脊椎動物の骨格標本を取り上げた「小さな骨の動物園」（2005 年）などが開催されている。前者の展示ではクモの網も取り上げられており、図録の 51-56 ページには、新海栄一さんが「武器としての『巣』-クモ」という解説文を書かれている。

さて、今回の展示「クモの網 What a wonderful web!」は、昨年 11 月の談話会例会

に、遠路大阪から参加された INAX ギャラリー大阪の高橋麻希さんが、苦心して作り上げられた労作で、とにかく「素晴らしい」の一言に尽きる。

船曳和代さんが作成された 2000 枚におよぶクモ網標本から、厳選された 172 点が所狭しとケースに並べられ、壁面に貼られている。青地に白のクモ網標本は、コントラストがはっきりしている上に、背景が同一色でほぼ統一されているため、重なる位に近接して展示しても、互いが殺し合うことがない。むしろ、これでもか、という数の迫力が、強烈なインパクトを与えている。

クモ網標本のほかには、新海明さんの解説パネルが数枚、谷川明男さん撮影の写真パネルが数枚、新井浩司さん撮影の動画が 3 ブースで展示されているが、クモ本体の標本は（網標本の一部となっているオナガグモを除いて）一切展示されていない。これがまた効果的で、クモではなくクモ網に特化した、類いまれな展示を成功させている。展示担当の高橋さんが、単に仕事としてこなしたのではなく、クモ網に対してこだわりと思い入れをもって完成させたことがひしひしと伝わってくる、迫力のある展示である。

船曳さんのクモ網標本は、これまでに姫路科学館の「クモ展ー身近な動物・小さな芸術家ー」（2000 年）や、にしわき経緯度地球科学館の「網の芸術家『クモ』展」（2000-01 年）などでも展示されている。しかし、展示点数でも、クモ網だけを扱っているという意味でも、今回の展示は現在までに船曳さんが作成されたクモ網標本の集大成といえるものである。

大阪での会期は 2008 年 3 月 7 日から 5 月 23 日までで、その後名古屋（6 月 14 日～8 月 21 日）、東京（9 月 4 日～11 月 21 日）と巡回する。ウェブも充実していて、各種情報は以下のサイトから得られる：

展示の概要 <http://www.inax.co.jp/gallery/exhibition/detail/d_001152.html>

展示の内容 <http://www.inax.co.jp/gallery/user_exh/w_0803kumo.html>

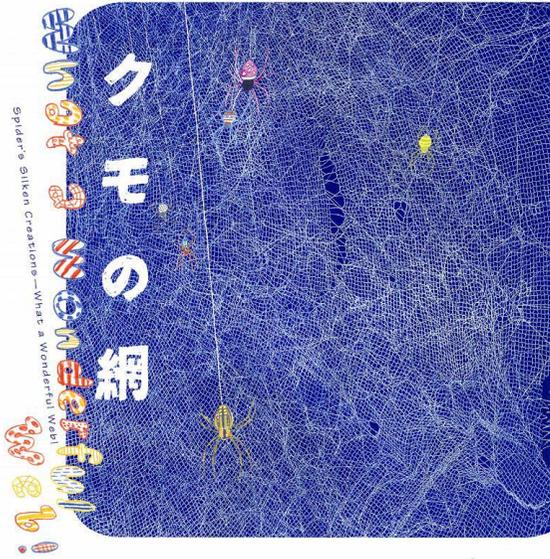
展示品リスト <http://www.inax.co.jp/gallery/user_exh/l_0803kumo.html>

因みに私はオープン 4 日目の 3 月 10 日に見学したのだが、芳名帳にはすでに池田勇介少年の名前があった。さすがである。

展示も素晴らしいが、図録も素晴らしい。

中心はもちろん船曳さんのクモ網標本で、36 種が取り上げられている。日本産のクモの種数を 1500 種と見積り、その半数が造網性種と仮定すると、収録種数は 5%にも満たないことになるが、実に多種多様な網が紹介されているために、物足りなさは全く感じない。「クモの網 = オニグモ網のような円網」と思っていた人は、さまざまな姿の網の存在に驚かれるに違いない。

見開きに 1 葉から数葉のクモ網標本の鮮明な写真が掲載され、簡潔で的を得た解説文がつけられている。必要に応じて新海明さんによるやや専門的な説明が加えられているが、小さめの赤い字で印刷されているので、読みたければ読めばよいし、安心して(?)読み飛ばすこともできる。各見開きごとに与えられた見出しが「ふんわりドーム」「クラゲの親子」「水上レストラン」などと、実に気が利いていて、なおかつ網の特徴をよくとらえている。



クモの種名の下には、保育社の「原色日本クモ類図鑑」から全形図が引用されているし、実物大のシルエットも添えられている。さらには出現期と大雑把な分布域が示されているので、他の図鑑類をわざわざ引っ張り出さなくても、網の主のクモについてある程度知ることができるようになっている。そして随所に七字由布さんの素朴なタッチのイラストが、網標本を邪魔しないように、控え目に加えられている。

船曳さんのインタビュー記事「クモの網に魅せられて」では定石通り、クモ網との出会いから始まって、標本の作り方、採集での苦労話、今後の希望

がコンパクトにまとめられていて、大変興味深い。特に一番最後の「網の美しさはもちろんですが、現物を残しておくと思研究材料にもなると思いますから。」の一文に、船曳さんの網標本作成に対する姿勢が凝縮されている。

ところで、船曳さんのクモ網標本を「作品」とか「アート」と呼ぶ向きもあるが、私はこれらの表現に引っ掛かりを感じる。確かに船曳さんが作られた標本は美しく、美術品とも思える。しかし美しい網を造ったのはクモの手柄であり、船曳さんが作ったわけではない。船曳さんはいかにその姿を際立たせ、いかに上手に保存するかに心を砕かれ、長年の試行錯誤の末に、職人芸とも言える技術を身につけられたのである。一見夜景をバックに、白く輝いているクモ網写真と見まごうばかりの、そして粘球の一粒一粒までも忠実に固定された船曳さんのクモ網標本は、やはり「作品」や「アート」ではなく、「標本」と呼ぶのがふさわしいと思う。

末尾の新海明さんの解説文「糸が紡ぐ世界」はいつもながらの名文で、思わず唸ってしまう。クモ網研究の第一人者である新海さんならではの豊富な内容が、これまた新海さんならではの軽妙な筆致で綴られており、実にすんなりと頭に入ってくる。他の人が書いたらこんなには簡単に読ませる文章にはならないであろう。そして分かりやすいだけでなく味がある。私はこのような新海さんの文章を、いつも上手いなあ、と感心しながら読んでいるのであるが、今回のこの図録で、その思いを新たにしたい。

クモ網の解説書としては池田・新海・谷川の「クモの巣と網の不思議」(文葉社、2003年)という好著がある。しかし同書は、手っ取り早く読むには少しボリュームがありすぎるし、何よりも既に品切れである(現在、Amazon マーケットプレイスでは1万円前後の値をつけている)。その意味で、今回の図録は展示解説書としてはもちろんのこと、クモ網の入門書としても絶好のものである。

書誌情報は以下の通り：

船曳 和代・新海 明（著） INAX BOOKLET「クモの網 What a wonderful web!」
A4 変判 /75pp.（カラー 60pp.） INAX 出版 2008 年 3 月発行
ISBN978-4-87275-843-6 1,575 円（税込）

また，以下サイトでは，目次を含めたやや詳しい紹介が見られる：

<http://www.inax.co.jp/publish/book/detail/d_843.html>



3/11，荒川区教育委員会褒章の贈呈式があり，小学校を通して推薦された八幡秋山沙和（当時 4 年生）が「加治木町くも合戦（子どもの部 合戦の部）優勝」の件で褒章をいただきました。当日は「文化の部」「スポーツの部」に分かれて表彰されましたが，面白いことに「くも合戦」はスポーツの部に入っていました。教委事務局は「私どもも悩んだんですが，スポーツの部のほうにさせていただきました」との弁。沙和は「当然スポーツでしょ」と，闘うコガネグモの気持ちを代弁していました。

沙和は 4 月の例会には来られませんでした，父親は自分の講演用のパワーポイント・ファイルを自宅パソコンに置き忘れて来てしまったので大あわて自宅からメールにファイルを添付して，会場の東京工科大学に転送する，という難しいシゴトを，

父の指示で 1 時間かかってこなしました。「クモの気持ちとパソコンの扱いに詳しくければ，将来は研究者として楽しみだ」と父親は勝手に期待しています。

（八幡明彦）

通信原稿投稿先：

通信担当 谷川明男 247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416

E-mail：dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

談話会通信の原稿締め切りは，4 月例会総会直後，8 月末日，11 月例会直後です。

KISHIDAIA 原稿投稿先：

会誌担当 池田博明 258-0018 足柄上郡大井町金手 1099

E-mail：fwgd9084@mb.infoweb.ne.jp

キシダイアの原稿締め切りは，6 月末日と 12 月末日です。

今年度よりキシダイアの版下作成は，谷川明男から仲條竜太が引き継ぎました。

2008 年度観察会

1. 期 日： 第 1 回 5 月 18 日（日） 第 2 回 7 月 13 日（日）
第 3 回 10 月 19 日（日） 第 4 回 2 月 15 日（日）

*7 月と 2 月の日程が前回のご案内から変更になりました。ご注意ください。

2. 場 所： 北本自然観察センター

3. 世話人： 平松毅久

4. 集 合： JR 高崎線北本駅西口改札前 午前 10 時

チサン団地經由北里メディカルセンター行きバスで自然観察公園下車
所要時間約 13 分，料金¥180。10 時 4 分発のバスに乗車予定ですので 10 時
にはすみやかにバス停に移動します。

バスの時刻：10 時台は 4 分，20 分，37 分（石戸蒲桜入口行き），51 分
高崎線大宮 北本：9 時 8 分（前橋行） 27 分着，9 時 18 分（高崎行快速） 40
分着，9 時 34 分（籠原行） 53 分着，9 時 42 分（高崎行） 10 時着

観察会会場周辺にはコンビニ，売店等はありませんので，事前にご用意下
さい。また参加者の方には腕章をつけてもらいますので，遅れて来られる方
は平松の PHS(070-5586-1346)までご連絡下さい。

東京蜘蛛談話会 2008 年合宿について

東京蜘蛛談話会 2008 年合宿を以下のように香川県高松市塩江温泉周辺と五色
台周辺で行ないます。香川県での合宿は初めてです。多くの皆さんの参加をお待
ちしています。

日程：2008 年 7 月 18 日（金）～ 7 月 20 日（日）

宿泊：塩江温泉「新樺川観光ホテル」 香川県高松市塩江町 1 - 6

Tel 087 - 893 - 1200

費用：宿泊費（1泊2食付き）11,000 円（現地にて徴収）

この他に 旅行保険 + 車代補助費として 3000 円ほどかかります。

申し込みは、6 月 30 日までに別紙申し込み書に必要事項を記入の上、新海 明
まで郵送か Fax して下さい。〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603

入退会は：事務局 初芝伸吾

〒186-0002 東京都国立市東 3-11-18-203 （有）エコシス

E-mail：hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp